

# CAUAシンポジウム2003 京都

「地域の教育情報化と大学の役割、京都の今！」

## — 学校教育の現場から —

京都府立京都すばる高等学校 藤末邦政

# 1 学校での現状について

## 一般論(高等学校における)

- ・ 生徒が多様化している。  
学校やクラスによって状況は異なる。
- ・ 保護者(の思い)が多様化している。
- ・ 進学志向が高いのは事実！！
- ・ 教員がとてつもなく忙しい。  
毎日の業務(授業・校務)で手一杯。

# 1 学校での現状について

## 本校における情報化について

### 生徒側

個別のユーザアカウントを持っている。

パソコン、メール利用時、このアカウントが必要

400台弱の実習用パソコンから利用可

ファイルサーバの個人及び共有フォルダを利用可

利用規定を守れば、放課後自由に利用可

検定試験前や課題提出前は6部屋とも一杯

情報科生徒はノートPCと無線LANを利用

ホームルーム教室からインターネットなどが可能

# 1 学校での現状について

生徒が力を併せれば教員数人よりはるかに力を発揮  
本校の例：高大連携のCD作成

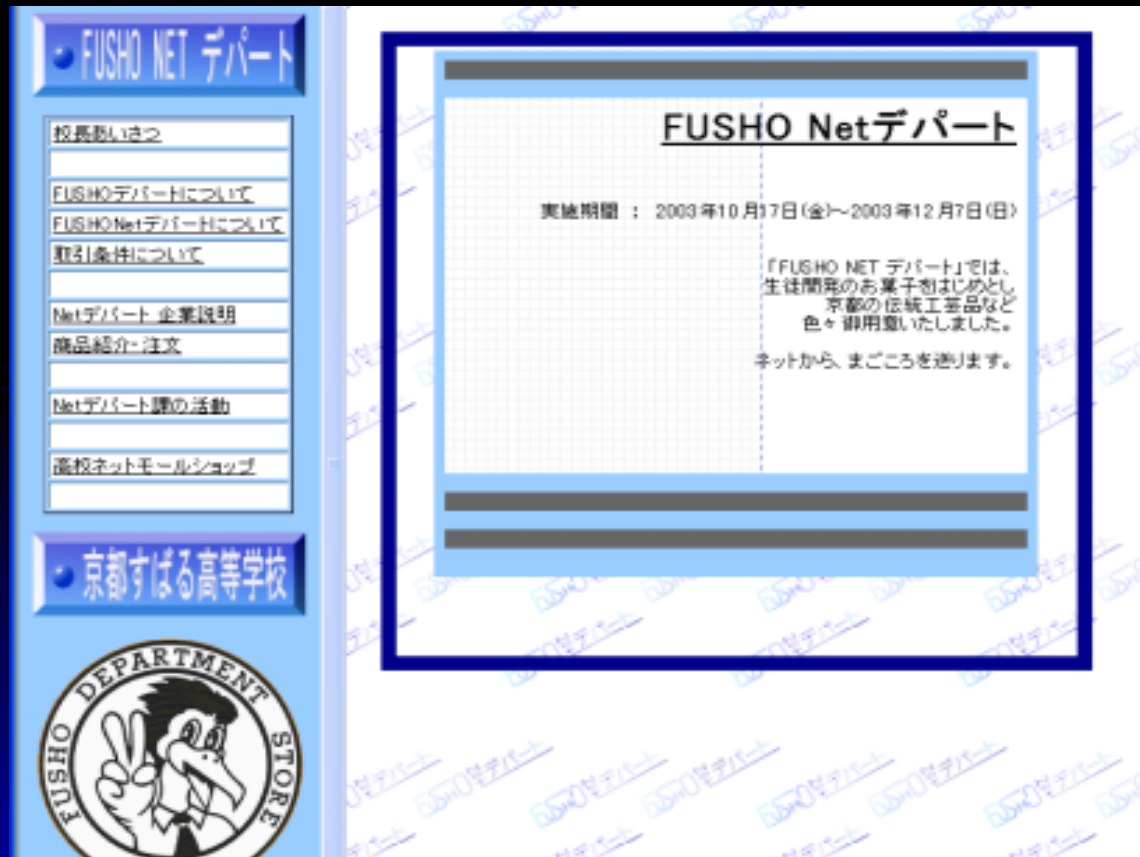


# 1 学校での現状について

生徒が力を併せれば教員数人よりはるかに力を発揮

本校の例：高大連携のCD作成

FushoNetデパートのHP

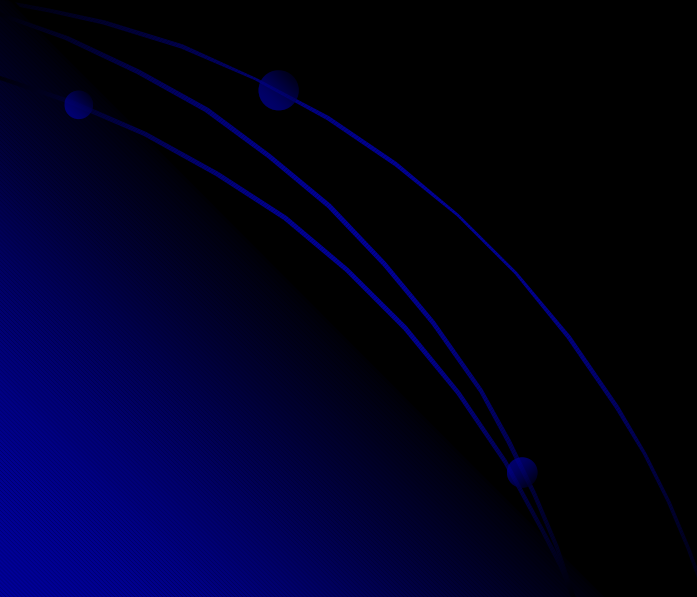


Netデパートのスタッフ

# 1 学校での現状について

生徒が力を併せれば教員数人よりはるかに力を発揮  
本校の例：高大連携のCD作成  
FushoNetデパートのHP

情報機器活用の能力は、教員より伸びが大きい。  
教員に研修するより短時間で終了。  
でも情報モラルまで育つわけではない。



# 1 学校での現状について

## 本校における情報化について

### 教員側

ほぼすべての職員室、準備室にLAN配線

各棟間は、1Gbpsの光ファイバで接続

### 各種サーバを活用

教員・生徒用併せて10台+実習用10台程度

ファイルサーバ2台、インターネット用サーバ2台など

成績処理などいくつかの教務業務は電算化

個人成績表、通知表、その他一覧表・・・

セキュリティは、VLANとIPアドレスの分離

ログは、最大3年間保存

京都みらいネットとの連携

# 1 学校での現状について

## 京都府立高等学校のインフラについて

40台のパソコンが設置されている実習室  
学校によりOSと導入ソフトがさまざまである。

専用のプロキシサーバ及びメールサーバ  
サブドメインで生徒用アカウントを自由に作成可能

平成15年4月にインターネット高速化(100Mbps)  
100台程度なら同時にWEBをしてもストレスなし。



## 2 学校での課題について

### 情報教育（情報活用能力の育成）

パソコンの操作実習 = 情報教育 と違う

教科「情報」だけでなくいろいろな教科で育成する必要がある。

### パソコンの教科での活用

パソコンを活用すると効果の上がる授業は、あるはず！！

でもなかなかできない。その理由は、

- インフラがない。

- 教材がない。

- 見つからない。

- 見つけられない。

- 作成している間がない。

- 企画はあってもスキルがない。

## 2 学校での課題について

インフラ（ハード）の整備

教材（ソフト）の整備

教員にもっと勉強が必要

外部から指導をいただく事も必要

